

室蘭工業大学

# 2023年度新入生アンケート

集計結果報告書

2023年11月

## 目次

1. 調査の概要 .....	3
2. 調査結果の要約 .....	4
3. 調査集計結果 .....	8
I. 受験・入学について .....	8
問1 大学進学の原因 .....	8
問2 本学を知るうえで参考になった広告媒体 .....	9
問2(付問) (「1」～「9」と回答した方)その広告媒体で参考になった情報 .....	10
問3 受験を決めた時期 .....	11
問4 本学を選択した理由 .....	12
問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度 .....	14
問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述) .....	15
問7 本学受験の入試区分 .....	15
問8 入学の際の現役・浪人等の区分 .....	16
問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等 .....	17
II. 学生生活・教育環境について .....	19
問10 窓口・学生サービス等の満足度 .....	19
問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー .....	20
問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度 .....	21
問13 本学の情報化への対応の印象 .....	22
III. 海外留学・進学の意向と遠隔授業・学生生活全般 .....	23
問14 海外留学への興味 .....	23
問14(付問) 海外留学の期間 .....	24
問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向 .....	25
問16 遠隔授業の内容、全体の満足度 .....	28
問17 遠隔授業で良かった点 .....	29
問18 遠隔授業で困ったこと .....	30
問19 学生生活において不安なこと .....	31
問20 今後の大学からの支援に望むこと .....	32
問21 入学から現在までの総合的な満足度 .....	33

[別冊]設問別自由記述

# 1. 調査の概要

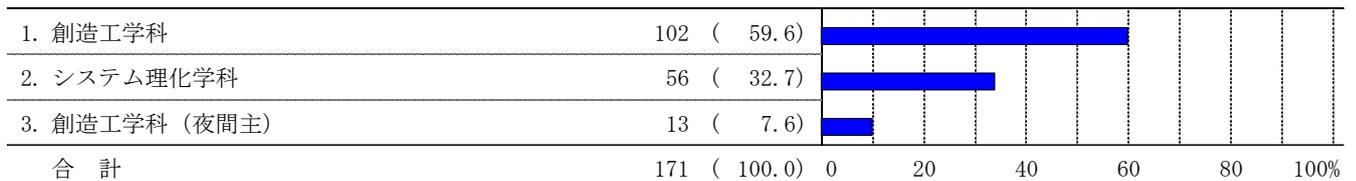
① 実施時期: 令和 5 年 (2023 年) 6 月 21 日 (水) ~ 令和 5 年 (2023 年) 10 月 13 日 (金)

② 対象: 室蘭工業大学 1 年生 634 名

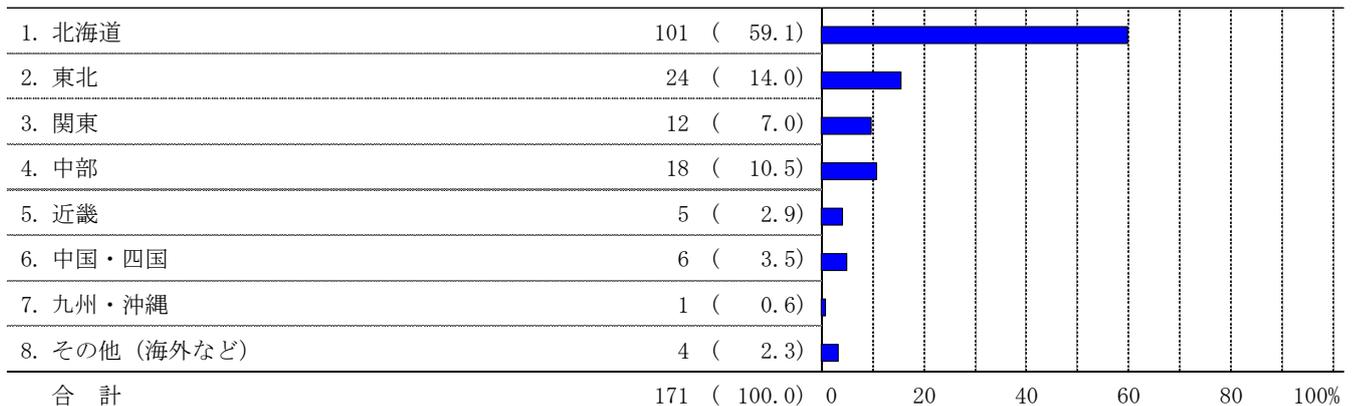
③ 回答・回収状況: 171 票 (回収率: 27.0%)

## ④ 回答者内訳

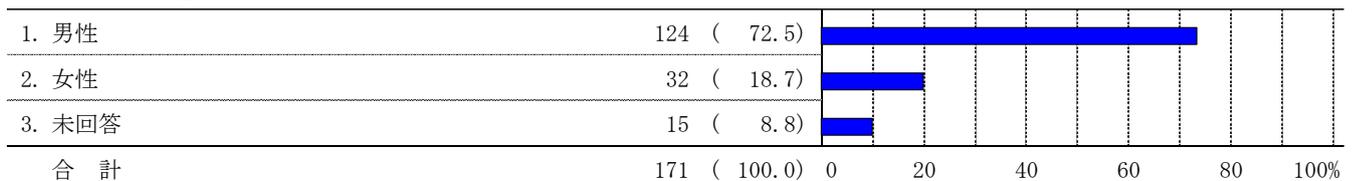
### (1) 所属学科



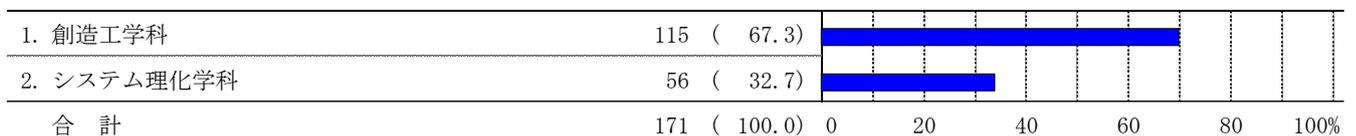
### (2) 出身高校所在地



### (3) 性別 (任意項目)



### (1) 所属学科



※学科別クロス集計は創造工学科(夜間主) 8 票を創造工学科に含め 115 票、システム理化学科 56 票で行っている。

## 2. 調査結果の要約

### I. 受験・入学について

#### 問1 大学進学の原因

大学進学を考えた理由について、全体として30%以上の項目は高い順に「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」(63.7%)、「社会に出たとき、学歴が必要だと思ったから」(56.7%)、「自分のしたいことを探すため」(40.9%)、「自分のしたいこと、学びたい分野があるから」(38.0%)、「幅広い教養を身につけたいから」(31.6%)となっている。

#### 問2 本学を知るうえで参考になった広告媒体

本学を知るうえで参考となった広告媒体の上位7項目は、全体としては高い順に「公式webサイト(モバイルサイト含む)」(48.0%)、「大学案内パンフレット冊子」(40.4%)、「大学受験情報サイト」(36.8%)、「オープンキャンパス」(19.3%)、「学校で開催された大学説明会」(17.0%)、「受験雑誌の記事・広告」(16.4%)、「Youtubeに公開されている動画」(10.5%)となっている。

#### 問3 受験を決めた時期

本学受験を決めた時期は、「高校3年生(大学入学共通テスト後)」(39.2%)、「高校3年生(大学入学共通テスト前)」(33.9%)を合わせた高校3年生の時に決めたという回答が73.1%を占めている。

#### 問4 本学を選択した理由

進学や受験時に本学を選んだ理由について、全体として「決め手になった」のが50%以上の項目は、高い順に「入試の難易度が自分に合う」(70.8%)、「自分自身の希望」(70.2%)、「学科・コース構成」(66.1%)、「自分に適した入試制度がある」(60.8%)、「卒業生の就職先や就職率」(52.6%)、同率で「周囲の薦め」(52.6%)となっている。

#### 問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度

受験時の本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度について、全体として「受験を決めるうえで参考にした」のは35.1%、「アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった」が48.5%、「アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった」のは16.4%となっている。学科ごとの差異もみられる。

#### 問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述)

本学受験や入学前に、知っておきたかったことについては、「特になし」等を含めて19件の記述がある。内容は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

#### 問7 本学受験の入試区分

受験の際の入試区分については、全体としては「前期日程」が35.7%となっている。「総合型選抜Ⅰ」、「総合型選抜Ⅱ」を合わせた割合は21.7%である。経年変化でみると2021年度以降、「後期日程」の割合が微増傾向になっている。

## 問8 入学の際の現役・浪人等の区分

全体としては現役での入学が91.2%となっている。本文では本設問を実施した6年間の経年変化も掲載している。

## 問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等

「本学は第一志望でしたか」との設問に、全体としては「第一志望だった」(58.5%)、「第二志望以下だった」(41.5%)という回答結果であった。創造工学科とシステム理化学科で差異もある。

受験した他大学で2件以上自由記述に記載された大学を本文に掲載した。

記載大学全ては自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

## II. 学生生活・教育環境について

### 問10 窓口・学生サービス等の満足度

窓口や学生サービス等については、概観すれば全体として各窓口・学生サービスともに普通以上の満足度となっているといえよう。

窓口や学生サービス対応について、改善すべき点に関しては「特になし」等含めて7件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー

問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューが「充分である」と答えた学生の割合は26.9%、「普通」51.5%を加えると78.4%となっている。

一方、「充分でない」と回答した学生が記載した理由としては、具体的記述として5件が記載されているので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度

学習支援サービスや施設・教育機材等の満足度については、項目により「利用したことがない」学生も多い。＜利用者だけの回答割合＞でみると、「満足である」「普通」を合わせた「肯定的意見」の割合は、概ね90%以上となっている。

「不満である」と回答した学生の具体的記述が17件あるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問13 本学の情報化への対応の印象

本学の情報化への対応(各種案内や手続きの電子化)について、「進んでおり利便性を感じる」という学生は全体として46.2%、「遅れていて不便である」という否定的回答の割合は7.6%である。一方、「わからない」という回答が46.2%ある。

「遅れていて不便である」と回答した学生(7.6%)からの「改善すべき点」について4件の記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### Ⅲ. 海外留学・進学意向と遠隔授業・学生生活全般

#### 問14 海外留学への興味

海外留学への興味について、全体として「興味がある」と回答した学生は 42.1%。学科別の差異もみられる。

「興味がある」と回答した学生の割合は、経年変化でみるとこれまでの 7 年間の調査で最も高い割合となっている。

#### 問14(付問) 海外留学の期間

海外留学への興味があると回答した学生について、どのくらいの期間の留学について関心があるかを聞いた付問で、もっとも興味があるのは、全体としては「2 週間以上 1 か月未満」(31.9%)、次いで「6 ヶ月以上 1 年以内」(26.4%)となっている。学科により関心のある期間に差異もみられる。

「その他」について、1 件の記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

#### 問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向

大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えている割合は、全体としては 44.4%でこれまでの調査で最も高い割合となった。学科別では創造工学科 47.0%、システム理化学科 39.3%である。

本文では「進学したい理由」、「進学したくない理由」、また、「今後、大学院への進学を考えるにあたり、必要な情報」についての回答結果を掲載している。

自由記述欄では、「進学したい理由」3 件、「進学したくない理由」3 件の記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

#### 問16 遠隔授業の内容、全体の満足度

新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業の内容、満足度に関する設問について、全体としては「満足」+「やや満足」との回答は 76.0%、「満足」+「やや満足」+「普通」でみると 93.0%となっている。

新型コロナウイルスの影響で実施を開始した 2020 年度は、「満足」+「やや満足」との回答は 47.7%であったが、次年度以降、満足度は大幅に向上していることがわかる。

#### 問17 遠隔授業で良かった点

2020 年度以降、新型コロナウイルスの影響で実施に至り、継続している遠隔授業に関して良かった点を聞いた設問について、全体としては選択割合が高い上位 3 項目は「自宅で学習できる」(77.8%)、「自分のペースで学習できる」(66.7%)、「復習ができる」(39.2%)となっている。

その他で良かったことについて 10 件の具体的な記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

#### 問18 遠隔授業で困ったこと

遠隔授業に関して困ったことを聞いた設問について、全体としては選択割合が高い上位 3 項目は「集中力が続かない」(49.1%)、「ネット環境が充分ではない」(32.2%)、「先生に質問がしにくい」(19.9%)となっている。

その他で困ったことについては、「特になし」等含めて 21 件の具体的な記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

### 問19 学生生活において不安なこと

学生生活を送っている学生の不安項目を聞いた設問について、全体としては選択割合が高い順に「将来の進路の不安」(53.2%)、「学修の遅れ」(40.4%)、「経済的な不安」(23.4%)、「友人を作れない」(20.5%)、「クラスメートからの情報が得られない」(14.6%)となっている。

その他で不安なことについて 11 件の具体的な記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問20 今後の大学からの支援に望むこと

今後、大学からどのような支援を望みますかという設問に関して、全体としては選択割合が高い順に「授業料の免除」(52.0%)、「大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど)」(26.3%)、「遠隔授業のための受講環境支援」(24.0%)、「学生への細やかな相談対応(チューター制度など)」(23.4%)、「授業料の徴収猶予」(10.5%)となっている。

その他の支援希望事項については 7 件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問21 入学から現在までの総合的な満足度

本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度にメリハリをつけて 10 段階で聞いた設問に関して、全体として選択割合が高い 3 項目は「7 点」(29.8%)、次いで「8 点」(26.3%)、「6 点」(12.9%)となっている。また、2 区分した場合の高いレベルになる「6 点」以上は 83.6%となっている。

尚、この割合はこれまでの調査で最も高い数値となっている。

以上

<掲載図表の数値表示について>

報告書掲載の図表内数値の合計については Excel での計算となっているため、以下例示サンプルのように小数点 1 位までの表示合計と 0.1 の差異がでる場合がある。

(図表内数値の合計表示例) : 「満足である」+「普通」=「肯定的意見」

問11. 本学における仕組みや施設・教育機材等についての満足度

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	無回答	小数点1位までの表示上の合計	肯定的意見
8. 図書館の施設・設備	39.6	48.8	3.8	3.3	4.4	88.4	88.5
10. PC、プロジェクター等の教育機器	25.3	57.2	6.3	6.6	4.6	82.5	82.6

Excel上で  
計算された値

### 3. 調査集計結果

#### I. 受験・入学について

##### 問1 大学進学理由

大学進学を考えた理由について30%以上の項目に網掛けをしている。

全体として30%以上の項目は高い順に「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」(63.7%)、「社会に出たとき、学歴が必要だと思ったから」(56.7%)、「自分のしたいことを探すため」(40.9%)、「自分のしたいこと、学びたい分野があるから」(38.0%)、「幅広い教養を身につけたいから」(31.6%)となっている。

経年比較は設問項目が変更された2019年度以降で行っている。「自分のしたいこと、学びたい分野があるから」は、本年度に追加された選択肢である。

##### 問1. 大学進学を考えた理由は何ですか(複数選択可)

	1. 勉強がしたいから	2. 将来の社会に必要だとき、学歴	3. 資格や免許を取得した	4. 幅広い教養を身につけたいから	5. 専門的な研究をしたいから	6. 不安だから社会に出るのは	7. 学生生活や課外活動を楽しむため	8. 自分のしたいことを探すため	9. 学びたい分野があるから、自分のしたい分野がある
全体[ 171]	63.7	56.7	28.1	31.6	27.5	22.2	24.6	40.9	38.0
創造工学科[ 115]	63.5	52.2	32.2	28.7	27.0	21.7	25.2	42.6	38.3
システム理化学科[ 56]	64.3	66.1	19.6	37.5	28.6	23.2	23.2	37.5	37.5

<経年比較> ※設問項目は年度により変更されている場合もあるので比較可能項目で行っている。(以下、同様)

##### 問1. 大学進学を考えた理由は何ですか(複数選択可)

	1. 将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	2. 社会に必要だとき、学歴	3. 資格や免許を取得した	4. 幅広い教養を身につけたいから	5. 専門的な研究をしたいから	6. 不安だから社会に出るのは	7. 学生生活や課外活動を楽しむため	8. 自分のしたいことを探すため	9. 学びたい分野があるから、自分のしたい分野がある	10. 無回答
2019年度[ 590]	61.2	56.3	26.4	21.7	33.1	20.0	21.7	39.3	—	0.3
2020年度[ 107]	59.8	57.9	29.0	29.9	30.8	24.3	18.7	38.3	—	—
2021年度[ 326]	73.3	61.0	29.8	31.0	35.0	27.6	29.8	46.3	—	—
2022年度[ 247]	72.5	55.1	28.7	27.9	31.6	23.1	20.2	36.8	—	—
2023年度[ 171]	63.7	56.7	28.1	31.6	27.5	22.2	24.6	40.9	38.0	—

## 問2 本学を知るうえで参考になった広告媒体

本学を知るうえで参考となった広告媒体の上位7項目(10%以上:網掛け)は、全体としては高い順に「公式 web サイト(モバイルサイト含む)」(48.0%)、「大学案内パンフレット冊子」(40.4%)、「大学受験情報サイト」(36.8%)、「オープンキャンパス」(19.3%)、「学校で開催された大学説明会」(17.0%)、「受験雑誌の記事・広告」(16.4%)、「Youtube に公開されている動画」(10.5%)となっている。

2022年度と比較すると「公式 web サイト」、「大学案内パンフレット冊子」、「オープンキャンパス」の選択が増加している、また割合はそれほど高くないが、「学校で開催された大学説明会」、「Youtube に公開されている動画」についても増加している。

### 問2. 本学を知るうえで参考になった広告媒体は何ですか (複数選択可)

	1. 公式 web サイト(モバイルサイト含む)	2. 大学案内パンフレット冊子	3. 受験雑誌の記事・広告	4. 大学受験情報サイト	5. 学校で開催された大学説明会	6. 学校以外で開催された大学説明会	7. 高校訪問型模擬講義(出前講義)	8. 大学訪問	9. オープンキャンパス	10. 新聞記事・広告	11. テレビCM	12. 札幌駅地下の電子広告	13. Youtube に公開されている動画
全体[ 171]	48.0	40.4	16.4	36.8	17.0	2.9	2.9	2.3	19.3	3.5	1.2	3.5	10.5
創造工学科[ 115]	47.0	37.4	18.3	34.8	13.9	2.6	2.6	1.7	14.8	5.2	1.7	5.2	15.7
システム理化学科[ 56]	50.0	46.4	12.5	41.1	23.2	3.6	3.6	3.6	28.6	—	—	—	—

### <経年変化>

### 問2. 本学を知るうえで参考になった広告媒体は何ですか (複数選択可)

	1. 公式 web サイト(モバイルサイト含む)	2. 大学案内パンフレット冊子	3. 受験雑誌の記事・広告	4. 大学受験情報サイト	5. 学校で開催された大学説明会	6. 学校以外で開催された大学説明会	7. 高校訪問型模擬講義(出前講義)	8. 大学訪問	9. オープンキャンパス	10. 新聞記事・広告	11. テレビCM	12. 札幌駅地下の電子広告	13. Youtube に公開されている動画	14. 高校訪問型模擬講義(プログラム)
2017年度[ 608]	48.5	50.7	15.6	25.7	5.8	2.1	1.6	—	9.4	2.0	—	—	—	0.2
2018年度[ 623]	50.1	52.0	14.6	27.4	5.3	1.6	1.1	—	10.8	1.9	—	—	—	0.3
2019年度[ 590]	59.7	55.9	12.9	27.1	7.6	2.7	2.2	2.0	18.1	1.9	0.3	0.5	—	—
2020年度[ 107]	29.0	47.7	19.6	36.4	15.9	5.6	2.8	7.5	20.6	12.1	0.9	0.9	2.8	—
2021年度[ 326]	34.7	42.0	14.1	39.0	22.1	2.1	5.2	4.6	12.6	9.5	0.6	0.6	4.0	—
2022年度[ 247]	28.3	33.2	15.0	36.8	13.8	2.0	2.4	4.0	15.4	7.3	0.8	1.2	4.9	—
2023年度[ 171]	48.0	40.4	16.4	36.8	17.0	2.9	2.9	2.3	19.3	3.5	1.2	3.5	10.5	—

## 問2(付問) (「1」～「9」と回答した方)その広告媒体で参考になった情報

本学を知るうえで参考となった広告媒体の「1」～「9」を選択した回答者に対する付問である。

回答割合が30%以上となっているセルに網掛けしている。

全体として50%以上となっているのは「学部」「学科」「コース」の3項目となっている。

学科別に見た場合で10%以上の差異があるのは、差異が大きい順に、「卒業後の就職に関すること」(創造工学科 36.1%、システム理化学科 16.1%で20.0%の差異)、「カリキュラムや学習内容」(創造学科 33.3%、システム理化学科 51.8%で18.5%の差異)、「取得できる資格や免許」(創造学科 26.9%、システム理化学科 16.1%で10.8%の差異)となっている。

「その他」の選択をした学生に対する自由記述では1件の記載がある。自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 問2. (「1」～「9」と回答した方) その広告媒体で参考になった情報はなんですか(複数選択可)

	1. 学部	2. 学科	3. コース	4. 内容 カリキュラムや学習内	5. 受験科目や個別試験 (二次試験)の形式	6. 入試の難易度や得点・ 偏差値	7. 研究内容や研究施設・ 設備	8. 研究以外の施設や設備	9. 卒業後の就職に関する こと	10. 卒業後の大学院進学に ついて	11. 取得できる資格や免許	12. その他
全体[ 164]	62.2	60.4	57.9	39.6	31.1	40.2	20.1	6.1	29.3	14.0	23.2	0.6
創造工学科[ 108]	63.0	62.0	56.5	33.3	30.6	42.6	21.3	8.3	36.1	16.7	26.9	0.9
システム理化学科[ 56]	60.7	57.1	60.7	51.8	32.1	35.7	17.9	1.8	16.1	8.9	16.1	0.0
学科間比較 創造工学科-システム理化学科	2.2	4.9	-4.2	-18.5	-1.6	6.9	3.4	6.5	20.0	7.7	10.8	0.9

※本設問は本年度よりの追加設問のため経年変化はない。

### 問3 受験を決めた時期

本学受験を決めた時期は、「高校3年生(大学入学共通テスト後)」(39.2%)、「高校3年生(大学入学共通テスト前)」(33.9%)を合わせた高校3年生の時に決めたという回答が73.1%を占めている。

経年変化で昨年度(2022年度)までの6年分を鳥瞰すると「高校2年」の時に本学受験を決めたという割合が微増傾向にあった(2017年度:12.5%~2021年度18.7%、2022年度16.6%)が、本年度調査では12.9%となっている。

#### 問3. 本学受験を決めたのはいつ頃ですか

	高校入学前	高校1年	高校2年	高校3年 (大学入学共通テスト前)	高校3年 (大学入学共通テスト後)	その他
全体[171]	3.5	4.1	12.9	33.9	39.2	6.4
創造工学科[115]	2.6	1.7	16.5	35.7	36.5	7.0
システム理化学科[56]	5.4	8.9	5.4	30.4	44.6	5.4

#### <経年変化>

#### 問3. 本学受験を決めたのはいつ頃ですか

	高校入学前	高校1年	高校2年	高校3年 (大学入学共通テスト前)	高校3年 (大学入学共通テスト後)	その他	無回答
2009年度[537]	1.3	5.4	16.9	31.1	35.6	9.7	—
2010年度[589]	2.7	5.4	15.6	24.3	43.0	8.5	0.5
2011年度[562]	1.8	6.0	13.3	28.1	36.7	11.9	2.1
2012年度[502]	1.8	5.2	12.7	29.3	39.8	10.6	0.6
2013年度[559]	2.9	5.7	15.6	24.0	44.5	6.6	0.7
2014年度[618]	1.8	5.0	13.3	30.9	40.5	8.3	0.3
2015年度[602]	2.5	6.6	14.5	31.7	38.9	5.6	0.2
2016年度[591]	1.9	3.9	13.9	27.1	46.2	6.9	0.2
2017年度[608]	2.1	5.1	12.5	24.2	43.6	11.3	1.2
2018年度[623]	3.4	5.3	13.2	26.3	41.1	10.0	0.8
2019年度[590]	3.2	5.4	14.7	28.5	38.8	9.3	—
2020年度[107]	—	7.5	15.9	28.0	39.3	9.3	—
2021年度[326]	3.4	6.4	18.7	29.8	35.0	6.7	—
2022年度[247]	3.2	6.5	16.6	28.7	38.5	6.5	—
2023年度[171]	3.5	4.1	12.9	33.9	39.2	6.4	—

※2022年度より(センター試験)名称は(大学入学共通テスト)に変更となっている。

#### 問4 本学を選択した理由

下図表は、進学や受験時に本学を選んだ理由 20 項目についての回答結果一覧である。

全体として「決め手になった」のが 50%以上の項目は、高い順に「入試の難易度が自分に合う」(70.8%)、「自分自身の希望」(70.2%)、「学科・コース構成」(66.1%)、「自分に適した入試制度がある」(60.8%)、「卒業生の就職先や就職率」(52.6%)、同率で「周囲の薦め」(52.6%)となっている。

次ページに同集計を「決め手になった」割合が高い順に並べ替えたものを掲載した。

「T.周囲の薦め」を選択した学生の具体的な相手に関しては 86 件の記載がある。自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問4. 本学受験の決め手となったのは何ですか

	合 計	1. 決め手になった	2. 決め手にはなら なかった	3. 詳しくは知らな かった
A. 大学のブランドやイメージ	171 ( 100.0)	43 ( 25.1)	65 ( 38.0)	63 ( 36.8)
B. 大学ランキングにおける評価	171 ( 100.0)	23 ( 13.5)	89 ( 52.0)	59 ( 34.5)
C. 学納金の適切性	171 ( 100.0)	39 ( 22.8)	57 ( 33.3)	75 ( 43.9)
D. 奨学金制度の充実	171 ( 100.0)	20 ( 11.7)	69 ( 40.4)	82 ( 48.0)
E. 教授・講師陣の充実	171 ( 100.0)	39 ( 22.8)	52 ( 30.4)	80 ( 46.8)
F. 卒業生の就職先や就職率	171 ( 100.0)	90 ( 52.6)	41 ( 24.0)	40 ( 23.4)
G. 教育目標	171 ( 100.0)	42 ( 24.6)	61 ( 35.7)	68 ( 39.8)
H. 教育課程や授業内容	171 ( 100.0)	66 ( 38.6)	43 ( 25.1)	62 ( 36.3)
I. 学びたいゼミ・研究室がある	171 ( 100.0)	51 ( 29.8)	44 ( 25.7)	76 ( 44.4)
J. 免許、資格等の取得	171 ( 100.0)	52 ( 30.4)	62 ( 36.3)	57 ( 33.3)
K. 学科・コース構成	171 ( 100.0)	113 ( 66.1)	32 ( 18.7)	26 ( 15.2)
L. クラブ・サークル活動	171 ( 100.0)	23 ( 13.5)	70 ( 40.9)	78 ( 45.6)
M. 留学や単位互換制度の充実	171 ( 100.0)	9 ( 5.3)	63 ( 36.8)	99 ( 57.9)
N. 自分に適した入試制度がある	171 ( 100.0)	104 ( 60.8)	34 ( 19.9)	33 ( 19.3)
O. 入試の難易度が自分に合う	171 ( 100.0)	121 ( 70.8)	30 ( 17.5)	20 ( 11.7)
P. 建物 (校舎、キャンパス)	171 ( 100.0)	21 ( 12.3)	83 ( 48.5)	67 ( 39.2)
Q. 教育設備 (図書館、情報機器)	171 ( 100.0)	35 ( 20.5)	60 ( 35.1)	76 ( 44.4)
R. 通学の利便性	171 ( 100.0)	24 ( 14.0)	90 ( 52.6)	57 ( 33.3)
S. 自分自身の希望	171 ( 100.0)	120 ( 70.2)	51 ( 29.8)	
T. 周囲の薦め	171 ( 100.0)	90 ( 52.6)	81 ( 47.4)	

注:( )内はサンプル数を100とした割合

<「決め手になった」割合が高い順>

問4. 本学受験の決め手となったのは何ですか

	決め手になった	決め手にはならなかった	詳しくは知らなかった
O. 入試の難易度が自分に合う	70.8	17.5	11.7
S. 自分自身の希望	70.2	29.8	
K. 学科・コース構成	66.1	18.7	15.2
N. 自分に適した入試制度がある	60.8	19.9	19.3
F. 卒業生の就職先や就職率	52.6	24.0	23.4
T. 周囲の薦め	52.6	47.4	
H. 教育課程や授業内容	38.6	25.1	36.3
J. 免許、資格等の取得	30.4	36.3	33.3
I. 学びたいゼミ・研究室がある	29.8	25.7	44.4
A. 大学のブランドやイメージ	25.1	38.0	36.8
G. 教育目標	24.6	35.7	39.8
C. 学納金の適切性	22.8	33.3	43.9
E. 教授・講師陣の充実	22.8	30.4	46.8
Q. 教育設備（図書館、情報機器）	20.5	35.1	44.4
R. 通学の利便性	14.0	52.6	33.3
B. 大学ランキングにおける評価	13.5	52.0	34.5
L. クラブ・サークル活動	13.5	40.9	45.6
P. 建物（校舎、キャンパス）	12.3	48.5	39.2
D. 奨学金制度の充実	11.7	40.4	48.0
M. 留学や単位互換制度の充実	5.3	36.8	57.9

## 問5 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度

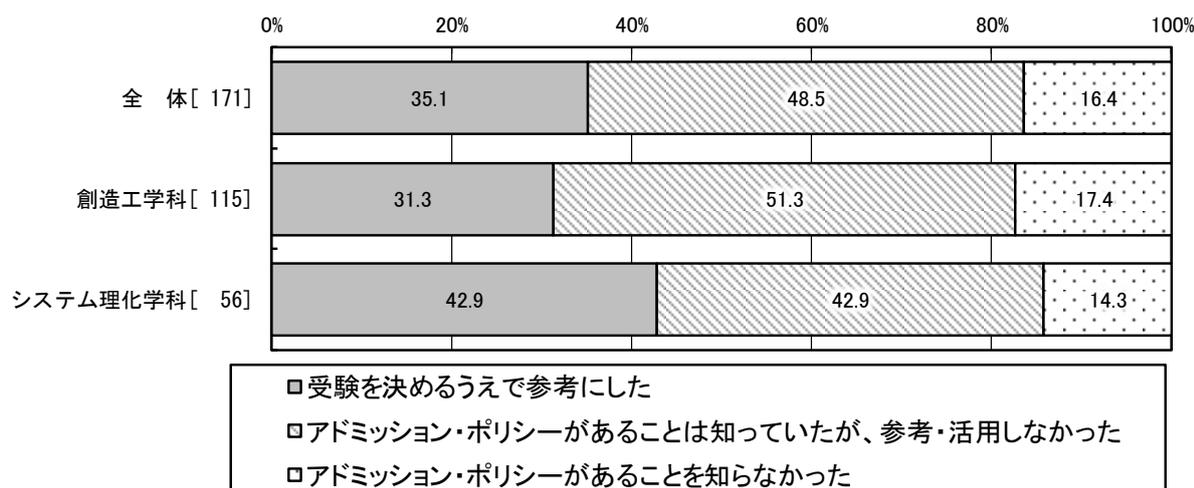
下図表は、受験時の本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)の認知度と活用度についての回答結果である。

全体として「受験を決めるうえで参考にした」のは 35.1%、「アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった」が 48.5%、「アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった」のは 16.4%となっている。学科ごとの差異もみられる。

### 問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください

	受験を決めるうえで参考にした	アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった	アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった
全体[ 171]	35.1	48.5	16.4
創造工学科[ 115]	31.3	51.3	17.4
システム理化学科[ 56]	42.9	42.9	14.3

### 問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください



### <経年変化>

### 問5. 本学のアドミッション・ポリシー(入学者受入方針)について選択してください

	受験を決めるうえで参考にした	アドミッション・ポリシーがあることは知っていたが、参考・活用しなかった	アドミッション・ポリシーがあることを知らなかった	無回答
2020年度[ 107]	36.4	43.9	18.7	0.9
2021年度[ 326]	39.0	46.0	15.0	—
2022年度[ 247]	42.9	47.8	9.3	—
2023年度[ 171]	35.1	48.5	16.4	—

## 問6 本学受験や入学前に、知っておきたかったこと(自由記述)

本学受験や入学前に、知っておきたかったことについては、「特になし」等を含めて19件の記述がある。内容は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

## 問7 本学受験の入試区分分

受験の際の入試区分については、全体としては「前期日程」が35.7%となっている。

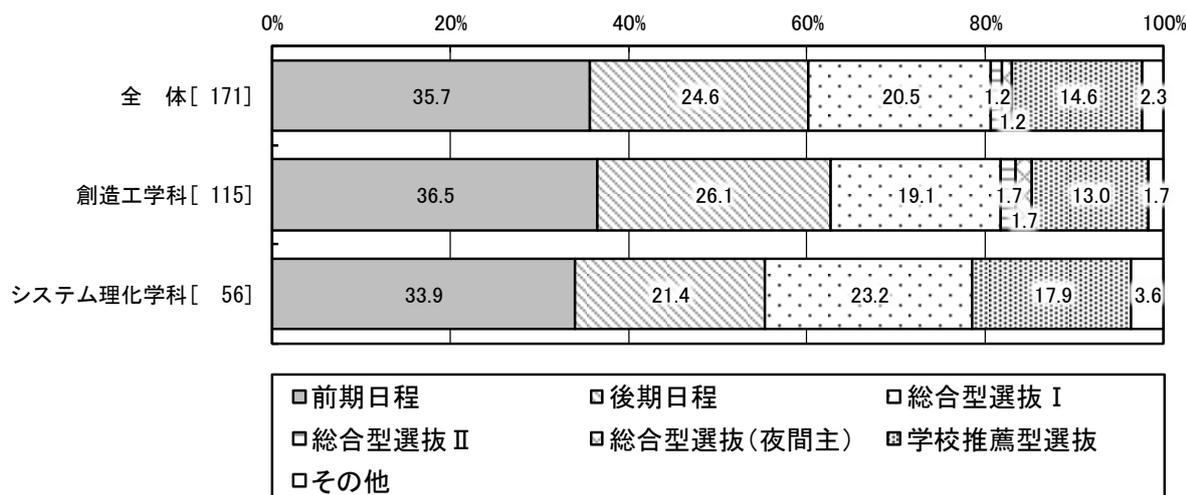
「総合型選抜Ⅰ」、「総合型選抜Ⅱ」を合わせた割合は21.7%である。

経年変化でみると2021年度以降、「後期日程」の割合が微増傾向になっている。

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか

	前期日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜(夜間主)	学校推薦型選抜	その他
全体[ 171]	35.7	24.6	20.5	1.2	1.2	14.6	2.3
創造工学科[ 115]	36.5	26.1	19.1	1.7	1.7	13.0	1.7
システム理化学科[ 56]	33.9	21.4	23.2	—	—	17.9	3.6

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか



## <経年変化>

問7. 本学受験の入試区分は何でしたか

	前記日程	後期日程	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	総合型選抜(夜間主)	学校推薦型選抜	その他	推薦Ⅰ(~2021年度)	推薦Ⅱ(~2021年度)	無回答
2017年度[ 608]	49.8	16.4	—	—	—	—	2.3	13.0	14.5	3.9
2018年度[ 623]	48.6	14.0	—	—	—	—	2.6	14.0	19.3	1.6
2019年度[ 590]	50.0	11.5	—	—	—	—	3.7	18.8	14.9	1.0
2020年度[ 107]	41.1	13.1	—	—	—	—	5.6	23.4	15.9	0.9
2021年度[ 326]	42.9	15.0	21.5	2.1	0.0	16.3	2.1	—	—	—
2022年度[ 247]	39.3	19.4	23.5	1.6	0.4	14.6	1.2	—	—	—
2023年度[ 171]	35.7	24.6	20.5	1.2	1.2	14.6	2.3	—	—	—

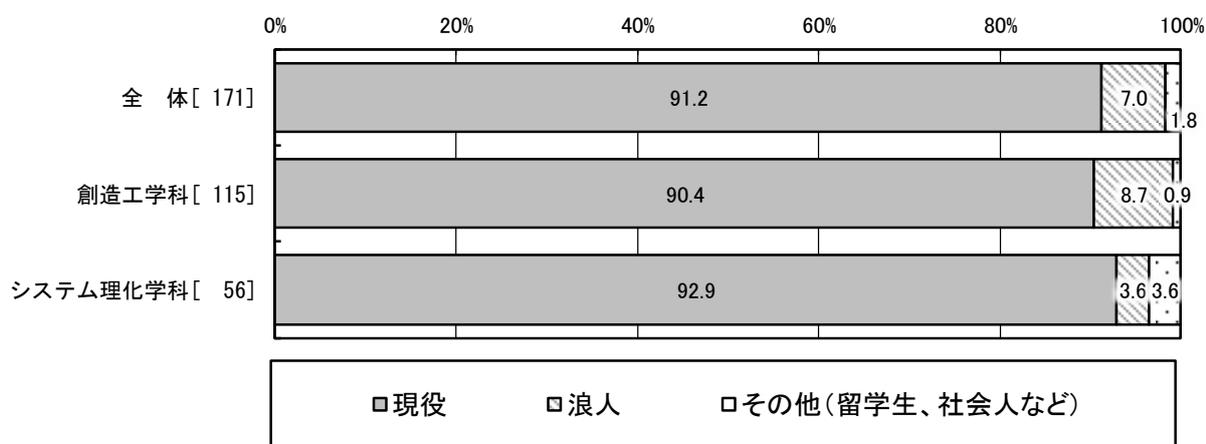
## 問8 入学の際の現役・浪人等の区分

全体としては現役での入学が91.2%となっている。本設問を実施した6年間の経年変化も掲載した。

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか

	現役	浪人	その他（留学生、社会人など）
全体[ 171]	91.2	7.0	1.8
創造工学科[ 115]	90.4	8.7	0.9
システム理化学科[ 56]	92.9	3.6	3.6

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか



### < 経年変化 >

問8. 現役で入学しましたか、それとも浪人しましたか

	現役	浪人	その他（留学生、社会人など）	無回答
2017年度[ 608]	79.1	14.8	2.8	3.3
2018年度[ 623]	83.8	11.4	3.5	1.3
2019年度[ 590]	83.7	11.7	3.9	0.7
2020年度[ 107]	81.3	10.3	7.5	0.9
2021年度[ 326]	86.8	10.4	2.8	—
2022年度[ 247]	91.5	7.7	0.8	—
2023年度[ 171]	91.2	7.0	1.8	—

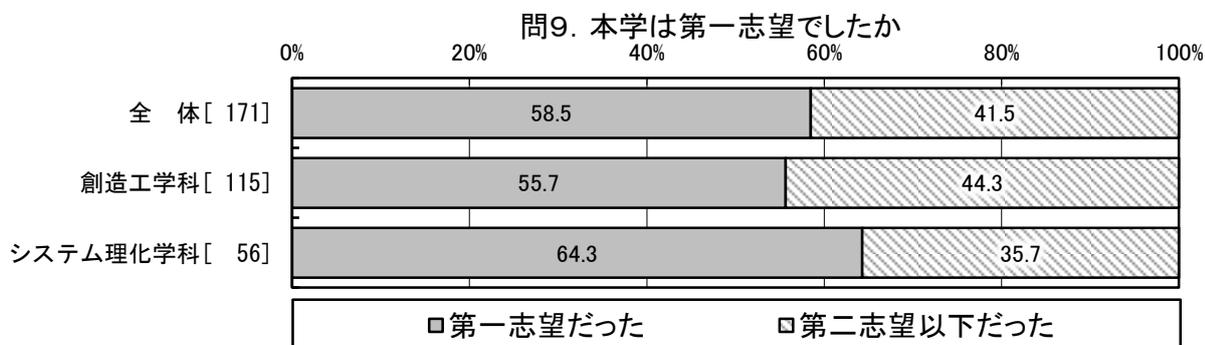
## 問9 第一志望の是非と他に受験した大学・学部等

「本学は第一志望でしたか」との設問に、全体としては「第一志望だった」(58.5%)、「第二志望以下だった」(41.5%)という回答結果であった。創造工学科とシステム理化学科で差異もある。

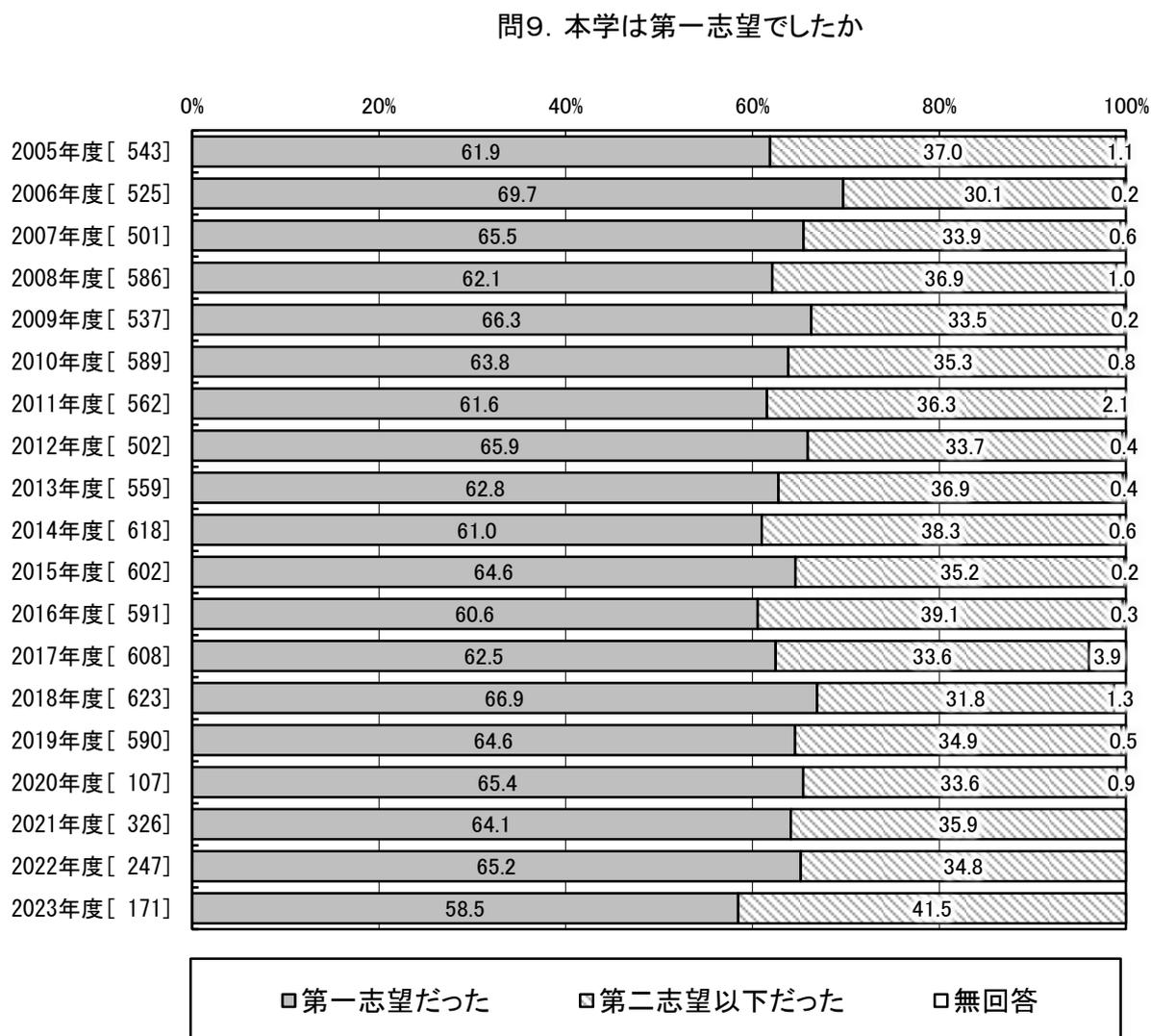
参考までに全体の経年変化を下段に掲載した。

受験した他大学で2件以上自由記述に記載された大学を次ページに掲載した。

記載大学全ては自由記述の個別記載事項は「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。



< 経年変化 >



<他に受験した大学で2件以上の記載大学名:件数の多い順に掲載>

1	北海道大学	医学部保健学科
2	北海道大学	歯学部歯学科
3	北海道大学	前期総合理系 数学重点
4	北海道大学	総合入試理系 物理重点
5	北海道大学	総合入試理系 物理重点
6	北海道大学	総合理系
7	北海道大学	総合理系
8	北海道大学	総合理系
9	北海道大学	総合理系学科
10	北海道大学	
11	北海道大学	
12	北海道大学	総合理系
13	北海道大学	
1	千歳科学技術大学	中期
2	千歳科学技術大学	理工学部
3	千歳科学技術大学	
4	千歳科学技術大学	
5	千歳科学技術大学	
1	日本大学	工学部
2	日本大学	航空系
3	日本大学	理工学部
4	日本大学	
1	弘前大学	医学部保健学科
2	弘前大学	機械化
3	弘前大学	理工学部
1	近畿大学	
2	近畿大学	
3	近畿大学	
1	静岡大学	工学部
2	静岡大学	工学部 機械工学科 前期日程
3	静岡大学	
1	信州大学	建築学科
2	信州大学	
1	千葉大学	工学部 物質科学コース
2	千葉大学	工学部
1	名古屋工業大学	工学部
2	名古屋工業大学	
1	立命館大学	
2	立命館大学	
1	岩手大学	理工学部
2	岩手大学	理工学部電気電子通信科
1	北九州市立大学	
2	北九州市立大学	
1	九州工業大学	工学部
2	九州工業大学	
1	工学院大学	機械系
2	工学院大学	建築学部建築学科・建築総合

## II. 学生生活・教育環境について

### 問10 窓口・学生サービス等の満足度

窓口や学生サービス等については、下図表のとおり「利用したことがない」割合にバラツキが見られ、学生の入学以後の利用状況が概観できる。「肯定的意見」は「満足である」「普通」の合計とした。

概観すれば全体として各窓口・学生サービスともに普通以上の満足度となっているといえよう。

窓口や学生サービス対応について、改善すべき点に関しては「特になし」等含めて7件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問10. 以下の窓口や学生サービス対応について、満足度をお聞かせください

#### A. 学生支援センター

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[ 171]	25.1	39.8	8.8	26.3	171	126	111	88.1%
創造工学科[ 115]	24.3	36.5	8.7	30.4	115	80	70	87.5%
システム理化学科[ 56]	26.8	46.4	8.9	17.9	56	46	41	89.1%

#### B. 図書館

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[ 171]	72.5	21.6	2.3	3.5	171	165	161	97.6%
創造工学科[ 115]	69.6	22.6	2.6	5.2	115	109	106	97.2%
システム理化学科[ 56]	78.6	19.6	1.8	—	56	56	55	98.2%

#### C. 学生相談室

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[ 171]	5.8	15.2	3.5	75.4	171	42	36	85.7%
創造工学科[ 115]	6.1	13.0	3.5	77.4	115	26	22	84.6%
システム理化学科[ 56]	5.4	19.6	3.6	71.4	56	16	14	87.5%

#### D. 保健管理センター

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体[ 171]	12.9	28.7	1.8	56.7	171	74	71	95.9%
創造工学科[ 115]	13.9	32.2	0.9	53.0	115	54	53	98.1%
システム理化学科[ 56]	10.7	21.4	3.6	64.3	56	20	18	90.0%

問10. 以下の窓口や学生サービス対応について、満足度をお聞かせください A. ~D. 平均値

	満足である	普通	不満である	利用したことがない	全体回答者	利用者	肯定的意見	肯定的意見/利用者
全体( 684)	29.1	26.3	4.1	40.5	684	407	379	93.1%
創造工学科( 460)	28.5	26.1	3.9	41.5	460	269	251	93.3%
システム理化学科( 224)	30.4	26.8	4.5	38.4	224	138	128	92.8%

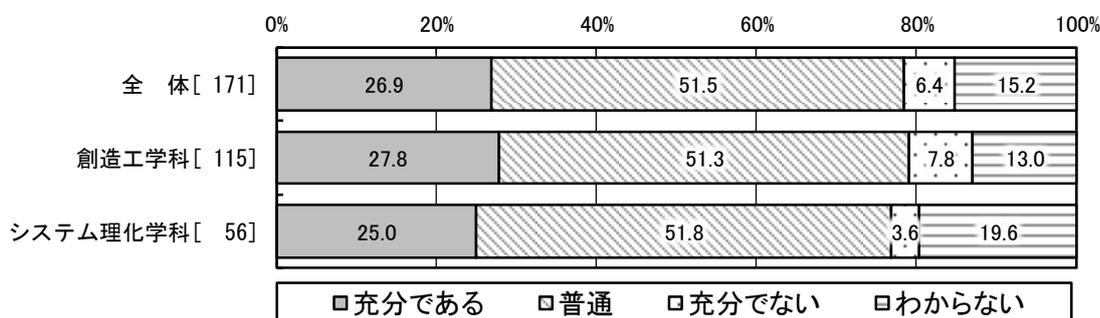
## 問11 問10以外の大学側のサポート(支援)体制・サービス内容・メニュー

問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューが「充分である」と答えた学生の割合は26.9%、「普通」51.5%を加えると78.4%となっている。

一方、「充分でない」と回答した学生が記載した理由としては、具体的記述として5件が記載されているので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問11. 問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか

	充分である	普通	充分でない	わからない	肯定的意見
全体[171]	26.9	51.5	6.4	15.2	78.4
創造工学科[115]	27.8	51.3	7.8	13.0	79.1
システム理化学科[56]	25.0	51.8	3.6	19.6	76.8



### <経年変化>

問11. 問10以外で大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか

	充分である	普通	充分でない	わからない	無回答	肯定的意見
2005年度[543]	7.9	66.1	5.2	19.7	1.1	74.0
2006年度[525]	8.2	71.4	4.2	15.6	0.6	79.6
2007年度[501]	13.0	64.1	4.2	17.8	1.0	77.0
2008年度[586]	13.8	65.5	3.4	16.6	0.7	79.4
2009年度[537]	12.7	68.9	3.0	14.9	0.6	81.6
2010年度[589]	12.6	68.9	3.4	14.4	0.7	81.5
2011年度[562]	16.7	68.0	4.1	10.9	0.4	84.7
2012年度[502]	19.5	69.3	2.6	8.4	0.2	88.8
2013年度[559]	20.9	65.8	4.7	8.1	0.5	86.8
2014年度[618]	17.8	69.1	2.8	10.2	0.2	86.9
2015年度[602]	24.1	67.1	2.5	6.0	0.3	91.2
2016年度[591]	18.6	66.5	4.6	10.2	0.2	85.1
2017年度[608]	24.7	53.9	4.3	13.5	3.6	78.6
2018年度[623]	25.0	55.7	4.2	13.8	1.3	80.7
2019年度[590]	30.5	51.0	3.2	14.6	0.7	81.5
2020年度[107]	23.4	46.7	3.7	24.3	1.9	70.1
2021年度[326]	29.1	45.4	1.8	23.6	—	74.5
2022年度[247]	23.5	50.2	3.2	23.1	—	73.7
2023年度[171]	26.9	51.5	6.4	15.2	—	78.4

## 問12 学習支援の仕組みやサービス、施設・教育機材等の満足度

学習支援サービスや施設・教育機材等の満足度については、下図表のとおり項目により「利用したことがない」学生も多い。下段図表＜利用者からの回答割合＞でみると、「満足である」「普通」を合わせた「肯定的意見」の割合は、概ね90%以上となっている。

「不満である」と回答した学生の具体的記述が17件あるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問12. 本学における以下の仕組みや施設・教育機材等について、どれくらい満足していますか

	満足である	普通	不満である	利用したことがない
A. チューター（教員との面談）制度	49.1	40.4	4.1	6.4
B. オフィスアワー	12.3	20.5	3.5	63.7
C. 学生便覧	37.4	53.8	6.4	2.3
D. シラバス	37.4	51.5	9.9	1.2
E. キャンパス・スクエア	45.0	48.0	7.0	0.0
F. 図書館の資料	32.7	40.9	4.1	22.2
G. 図書館の検索機能	28.7	31.0	4.1	36.3
H. 図書館の施設・設備	61.4	29.2	2.9	6.4
I. 講義室、実験実習施設等	33.9	57.3	4.7	4.1
J. PC、プロジェクター等の教育機器	28.1	57.3	5.3	9.4
K. 学生会館等の福利厚生施設	22.8	51.5	1.2	24.6

＜利用者からの回答割合＞

	満足である	普通	不満である	肯定的意見
A. チューター（教員との面談）制度	52.5	43.1	4.4	95.6
B. オフィスアワー	33.9	56.5	9.7	90.3
C. 学生便覧	38.3	55.1	6.6	93.4
D. シラバス	37.9	52.1	10.1	89.9
E. キャンパス・スクエア	45.0	48.0	7.0	93.0
F. 図書館の資料	42.1	52.6	5.3	94.7
G. 図書館の検索機能	45.0	48.6	6.4	93.6
H. 図書館の施設・設備	65.6	31.3	3.1	96.9
I. 講義室、実験実習施設等	35.4	59.8	4.9	95.1
J. PC、プロジェクター等の教育機器	31.0	63.2	5.8	94.2
K. 学生会館等の福利厚生施設	30.2	68.2	1.6	98.4

### 問13 本学の情報化への対応の印象

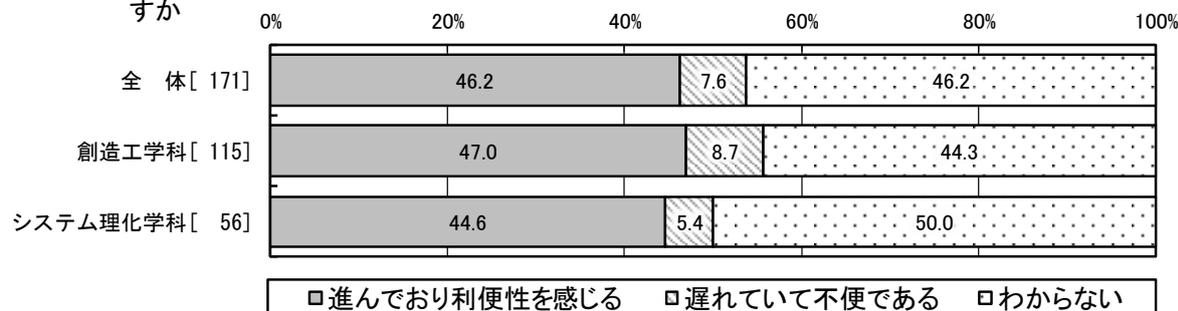
本学の情報化への対応（各種案内や手続きの電子化）について、「進んでおり利便性を感じる」という学生は全体として46.2%、「遅れていて不便である」という否定的回答の割合は7.6%である。一方、「わからない」という回答が46.2%ある。

「遅れていて不便である」と回答した学生（7.6%）からの「改善すべき点」について4件の記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

問13. 本学の情報化への対応（各種案内や手続きの電子化）について、どう感じていますか

	進んでおり利便性を感じる	遅れていて不便である	わからない
全体[ 171]	46.2	7.6	46.2
創造工学科[ 115]	47.0	8.7	44.3
システム理化学科[ 56]	44.6	5.4	50.0

問13. 本学の情報化への対応（各種案内や手続きの電子化）について、どう感じていますか



#### < 経年変化 >

問13. 本学の情報化への対応（各種案内や手続きの電子化）について、どう感じていますか

	進んでおり利便性を感じる	遅れていて不便である	わからない	無回答
2005年度[ 543]	45.1	27.8	26.2	0.9
2006年度[ 525]	53.1	20.2	26.1	0.6
2007年度[ 501]	54.9	11.8	32.5	0.8
2008年度[ 586]	59.4	12.8	27.5	0.3
2009年度[ 537]	30.4	22.0	47.3	0.4
2010年度[ 589]	39.4	19.4	40.4	0.8
2011年度[ 562]	35.8	15.8	45.7	2.7
2012年度[ 502]	25.3	22.1	51.8	0.8
2013年度[ 559]	24.5	24.9	50.3	0.4
2014年度[ 618]	71.8	3.7	23.6	0.8
2015年度[ 602]	29.4	10.0	60.0	0.7
2016年度[ 591]	39.9	10.8	48.9	0.3
2017年度[ 608]	50.3	5.4	38.3	5.9
2018年度[ 623]	55.5	2.7	36.3	5.5
2019年度[ 590]	56.6	4.7	37.3	1.4
2020年度[ 107]	45.8	4.7	46.7	2.8
2021年度[ 326]	53.1	4.3	42.6	—
2022年度[ 247]	57.1	3.6	39.3	—
2023年度[ 171]	46.2	7.6	46.2	—

### Ⅲ. 海外留学・進学意向と遠隔授業・学生生活全般

#### 問14 海外留学への興味

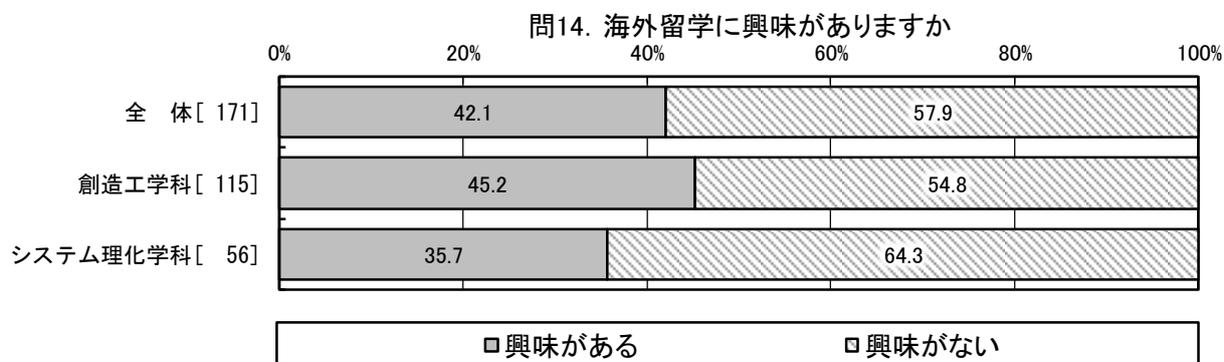
海外留学への興味についての設問である。

全体として「興味がある」と回答した学生は 42.1%。学科別の差異もみられる。

「興味がある」と回答した学生の割合は、経年変化でみるとこれまでの7年間の調査で最も高い割合となっている。

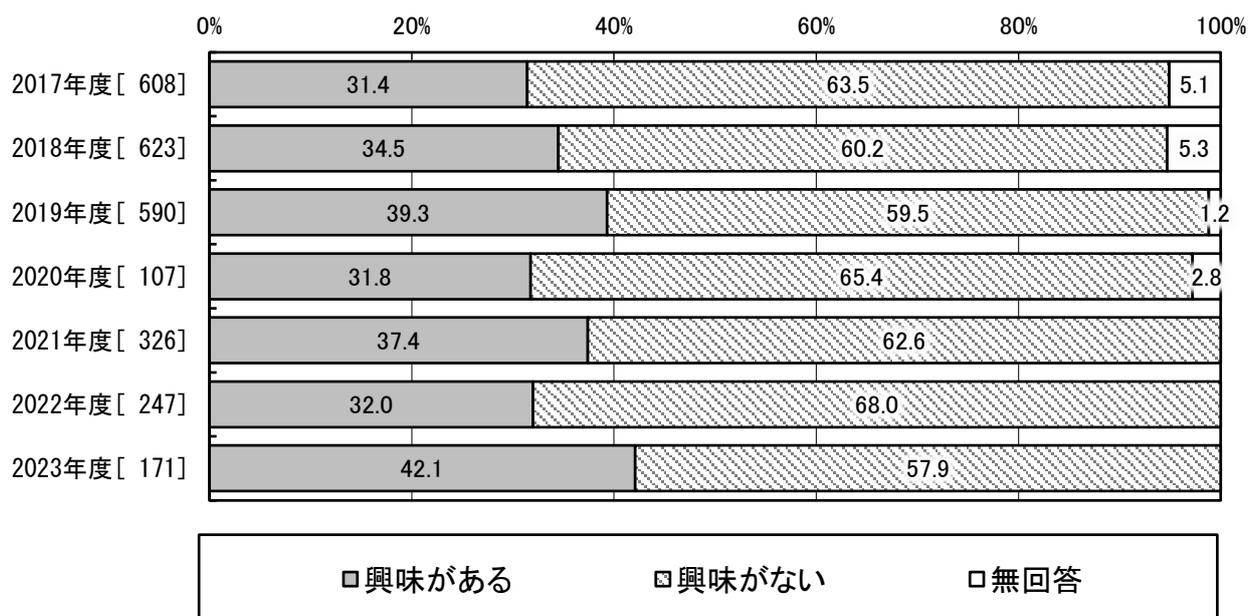
問14. 海外留学に興味がありますか

	興味がある	興味がない
全体[ 171]	42.1	57.9
創造工学科[ 115]	45.2	54.8
システム理化学科[ 56]	35.7	64.3



< 経年変化 >

問14. 海外留学に興味がありますか



## 問14(付問) 海外留学の期間

海外留学への興味があると回答した学生が、どのくらいの期間の留学について関心があるかを聞いた付問である。

もっとも興味があるのは、全体としては「2週間以上1か月未満」(31.9%)、次いで「6ヶ月以上1年以内」(26.4%)となっている。

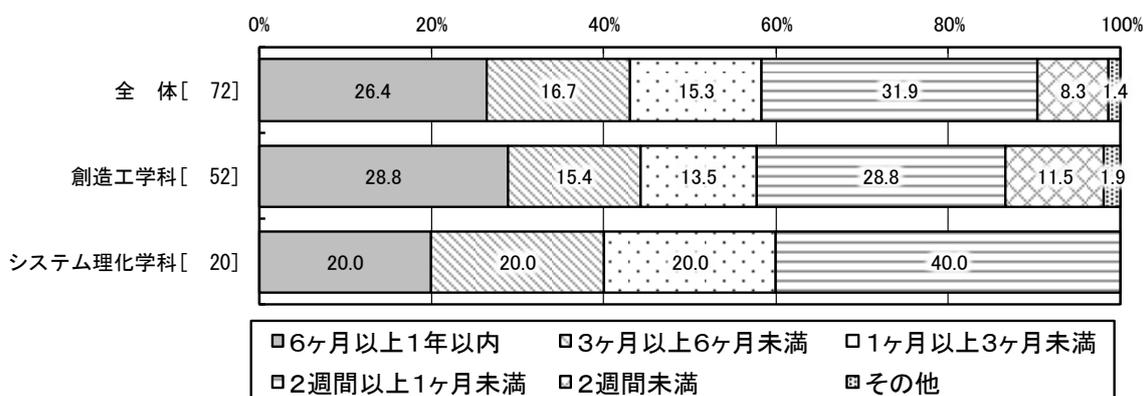
学科により関心のある期間に差異もみられる。

「その他」について、1件の記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか

	6ヶ月以上 1年以内	3ヶ月以上 6ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	2週間以上 1ヶ月未満	2週間未満	その他
全体[ 72]	26.4	16.7	15.3	31.9	8.3	1.4
創造工学科[ 52]	28.8	15.4	13.5	28.8	11.5	1.9
システム理化学科[ 20]	20.0	20.0	20.0	40.0	—	—

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか



< 経年変化 >

問14. (「1. 興味がある」と回答した方) どのくらいの期間の留学に関心がありますか

	6ヶ月以上 1年以内	3ヶ月以上 6ヶ月未満	1ヶ月以上 3ヶ月未満	2週間以上 1ヶ月未満	2週間未満	その他	無回答
2020年度[ 34]	35.3	17.6	29.4	14.7	—	—	2.9
2021年度[ 122]	24.6	12.3	23.8	27.0	7.4	—	4.9
2022年度[ 79]	22.8	12.7	22.8	31.6	2.5	—	7.6
2023年度[ 72]	26.4	16.7	15.3	31.9	8.3	1.4	—

## 問15 大学(学士課程)卒業後の大学院への進学意向

大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えている割合は、全体としては44.4%で、これまでの調査で最も高い割合となった。学科別では創造工学科47.0%、システム理化学科39.3%である。

本年度調査より、付問として「進学したい理由」を聞いている。

「進学したい理由」(複数回答可)について、全体として最も選択割合が高いのは「大学院でより専門的な研究をしたいから」(80.3%)、次いで「就職先や給与の面で有利だと思うから」(67.1%)、「研究活動を通して自分を高めたいから」(38.2%)、「理工学部なら大学院に進学するのが普通だと思うから」(26.3%)となっている。

### 問15. 大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えていますか

	進学したい	進学したくない	まだ、考えていない
全体[171]	44.4	16.4	39.2
創造工学科[115]	47.0	11.3	41.7
システム理化学科[56]	39.3	26.8	33.9

<経年変化>

### 問15. 大学(学士課程)卒業後に大学院へ進学したいと考えていますか

	進学したい	進学したくない	まだ、考えていない	無回答
2019年度[590]	40.0	18.3	40.5	1.2
2020年度[107]	33.6	15.0	48.6	2.8
2021年度[326]	37.1	16.0	46.9	—
2022年度[247]	39.3	14.2	46.6	—
2023年度[171]	44.4	16.4	39.2	—

### 【進学したい理由】

#### 問15. (「1. 進学したい」と回答した方) 進学したい理由を教えてください(複数回答可)

	1. 大学院でより専門的な研究をしたいから	2. 研究活動を通して自分を高めたいから	3. 就職先や給与の面で有利だと思うから	4. 理工学部なら大学院に進学するのが普通だと思うから	5. その他
全体[76]	80.3	38.2	67.1	26.3	3.9
創造工学科[54]	79.6	38.9	66.7	31.5	5.6
システム理化学科[22]	81.8	36.4	68.2	13.6	0.0

※本年度からの追加設問のため経年変化はない。

付問では「進学したくない理由」(複数回答可)についても聞いており、下図表が回答結果である。

「進学したくない理由」については、全体としては割合が高い順に「早く就職して社会で活躍したいから」(46.4%)、「経済的な理由から」(35.7%)、また、本年度から選択肢として追加された「大学院の研究には興味がないから」(32.1%)、「進学するメリットが判らないから」(25.0%)となっている。

自由記述欄では、「進学したい理由」3件、「進学したくない理由」3件の記述があるので【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

### 【進学したくない理由】

問15. (「2. 進学したくない」と回答した方) 進学したくない理由を教えてください (複数回答可)

	1. 大学院の研究には興味がないから	2. 早く就職して社会で活躍したいから	3. 経済的な理由から	4. 進学するメリットがわからないから	5. その他
全 体[ 28]	32.1	46.4	35.7	25.0	14.3
創造工学科[ 13]	30.8	46.2	30.8	38.5	23.1
システム理化学科[ 15]	33.3	46.7	40.0	13.3	6.7

### <経年変化>

問15. (「2. 進学したくない」と回答した方) 進学したくない理由を教えてください (複数回答可)

	大学院の研究には興味がないから	早く就職して社会で活躍したいから	経済的な理由から	進学するメリットがわからないから	その他	無回答
2019年度[ 108]	—	54.6	27.8	—	10.2	7.4
2020年度[ 16]	—	43.8	43.8	—	6.3	6.3
2021年度[ 52]	—	55.8	42.3	—	1.9	—
2022年度[ 35]	—	71.4	22.9	—	5.7	—
2023年度[ 28]	32.1	46.4	35.7	25.0	14.3	—

【今後、大学院への進学を考えるにあたり、必要な情報】

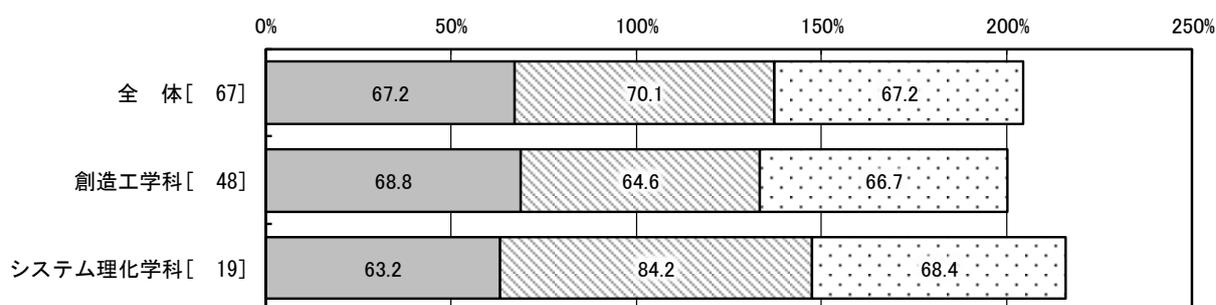
本年度から追加された「どのような情報が提供されると大学院への進学を考えるようになりますか」との付問に対して、全体としては「大学院の研究内容について」(67.2%)、「就職先や就職後の給与に関すること」(70.1%)、「進学にかかる費用や学費の支援(奨学金)について」(67.2%)となり、3項目全てが高い選択割合となっている。

尚、本設問に関しては自由記述欄での具体的記載はなかった。

問15. (「3. まだ、考えていない」と回答した方) 今後、どのような情報が提供されると大学院への進学を考えるようになりますか (複数回答可)

	1. 大学院の研究内容について	2. 就職先や就職後の給与に関すること	3. 進学にかかる費用や学費の支援(奨学金)について	4. その他
全体[ 67]	67.2	70.1	67.2	0.0
創造工学科[ 48]	68.8	64.6	66.7	0.0
システム理化学科[ 19]	63.2	84.2	68.4	0.0

問15. (「3. まだ、考えていない」と回答した方) 今後、どのような情報が提供されると大学院への進学を考えるようになりますか (複数回答可)



大学院の研究内容について
  就職先や就職後の給与に関すること  
 進学にかかる費用や学費の支援(奨学金)について
  その他

## 問16 遠隔授業の内容、全体の満足度

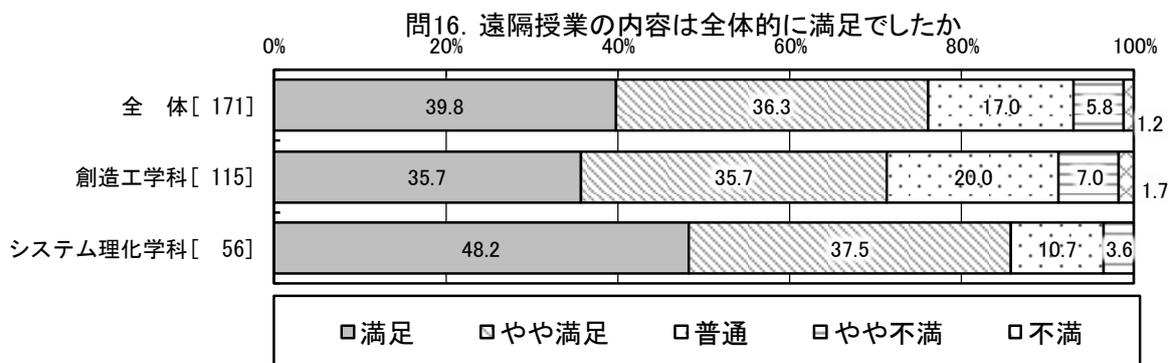
新型コロナウイルスの影響で実施に至った遠隔授業の内容、全体の満足度に関する設問である。  
下段に2020年度からの調査結果を掲載した。

全体として「満足」+「やや満足」との回答は76.0%、「満足」+「やや満足」+「普通」でみると93.0%となっている。

新型コロナウイルスの影響で実施を開始した2020年度は、「満足」+「やや満足」との回答は47.7%であったが、次年度以降、満足度は大幅に向上していることがわかる。

### 問16. 遠隔授業の内容は全体的に満足でしたか

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足+やや満足	満足+やや満足+普通
全体[ 171]	39.8	36.3	17.0	5.8	1.2	76.0	93.0
創造工学科[ 115]	35.7	35.7	20.0	7.0	1.7	71.3	91.3
システム理化学科[ 56]	48.2	37.5	10.7	3.6	—	85.7	96.4



### < 経年比較 >

#### 問16. 遠隔授業の内容は全体的に満足でしたか

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	満足+やや満足	満足+やや満足+普通
2020年度[ 107]	15.0	32.7	29.9	15.9	3.7	2.8	47.7	77.6
2021年度[ 326]	23.3	41.7	26.7	7.4	0.9	—	65.0	91.7
2022年度[ 247]	26.7	38.1	28.3	6.1	0.8	—	64.8	93.1
2023年度[ 171]	39.8	36.3	17.0	5.8	1.2	—	76.0	93.0

## 問17 遠隔授業で良かった点

2020年度以降、新型コロナウイルスの影響で実施に至り、継続している遠隔授業に関して良かった点を聞いた設問である。

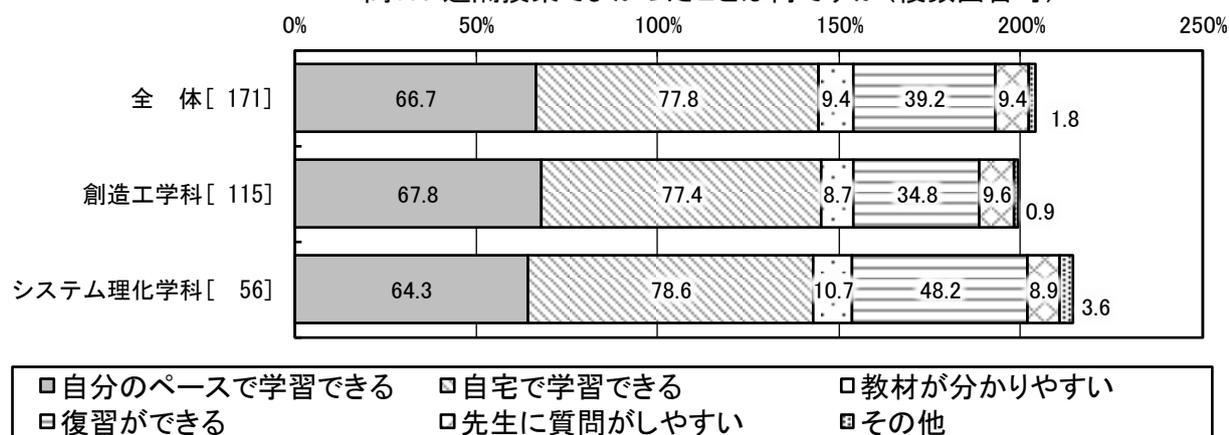
全体として選択割合が高い上位3項目は「自宅で学習できる」(77.8%)、「自分のペースで学習できる」(66.7%)、「復習ができる」(39.2%)となっている。

その他で良かったことについて10件の具体的な記述があるので【別冊】設問別自由記述を参照いただきたい。

### 問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか (複数回答可)

	1. 自分のペース で学習できる	2. 自宅で学習 できる	3. 教材が分 かりやすい	4. 復習が できる	5. 先生に質 問がし やすい	6. その他
全体[ 171]	66.7	77.8	9.4	39.2	9.4	1.8
創造工学科[ 115]	67.8	77.4	8.7	34.8	9.6	0.9
システム理化学科[ 56]	64.3	78.6	10.7	48.2	8.9	3.6

### 問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか (複数回答可)



< 経年比較 >

### 問17. 遠隔授業でよかったことは何ですか (複数回答可)

	1. 自分のペース で学習できる	2. 自宅で学習 できる	3. 教材が分 かりやすい	4. 復習が できる	5. 先生に質 問がし やすい	6. その他	7. 無 回答
2020年度[ 107]	75.7	77.6	13.1	57.0	9.3	1.9	2.8
2021年度[ 326]	73.0	77.9	9.8	51.2	11.0	1.8	—
2022年度[ 247]	63.6	76.5	4.9	44.1	5.7	1.2	—
2023年度[ 171]	66.7	77.8	9.4	39.2	9.4	1.8	—

## 問18 遠隔授業で困ったこと

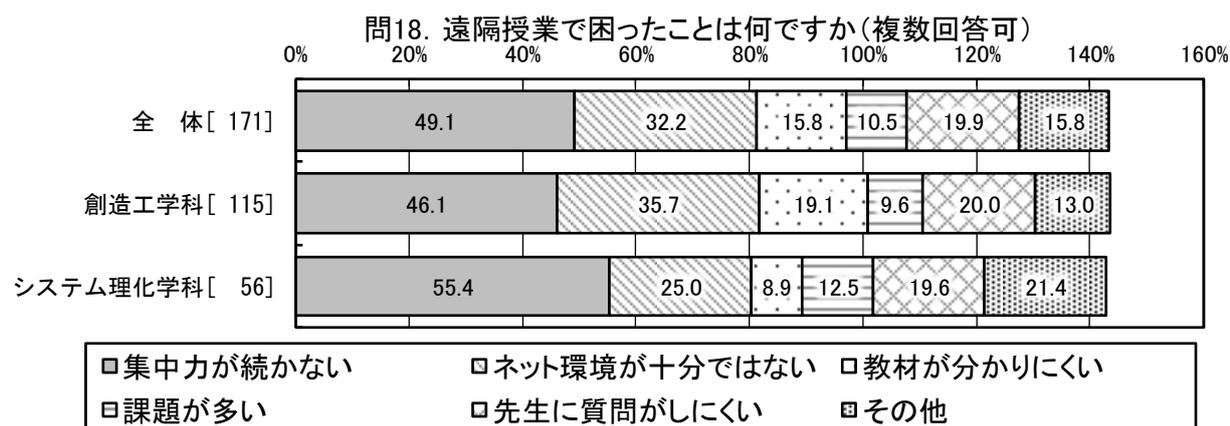
遠隔授業に関して困ったことを聞いた設問である。

全体として選択割合が高い上位3項目は「集中力が続かない」(49.1%)、「ネット環境が充分ではない」(32.2%)、「先生に質問がしにくい」(19.9%)となっている。

その他で困ったことについては、「特になし」等含めて21件の具体的な記述があるので【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問18. 遠隔授業で困ったことは何ですか (複数回答可)

	1. い集中 力が続 かな	2. 分ネ でツ はト な環 境が 十	3. く教 い材 が分 かり に	4. 課 題が 多い	5. に先 く生 いに 質問 がし	6. そ の 他
全 体[ 171]	49.1	32.2	15.8	10.5	19.9	15.8
創造工学科[ 115]	46.1	35.7	19.1	9.6	20.0	13.0
システム理化学科[ 56]	55.4	25.0	8.9	12.5	19.6	21.4



< 経年比較 >

問18. 遠隔授業で困ったことは何ですか (複数回答可)

	1. い集中 力が続 かな	2. 分ネ でツ はト な環 境が 十	3. く教 い材 が分 かり に	4. 課 題が 多い	5. に先 く生 いに 質問 がし	6. そ の 他	7. 無 回 答
2020年度[ 107]	47.7	23.4	29.0	54.2	31.8	10.3	2.8
2021年度[ 326]	60.1	25.5	23.9	31.9	24.8	7.1	—
2022年度[ 247]	59.5	13.4	21.1	20.2	23.1	6.9	—
2023年度[ 171]	49.1	32.2	15.8	10.5	19.9	15.8	—

## 問19 学生生活において不安なこと

学生生活を送っている学生の不安項目を聞いた設問である。

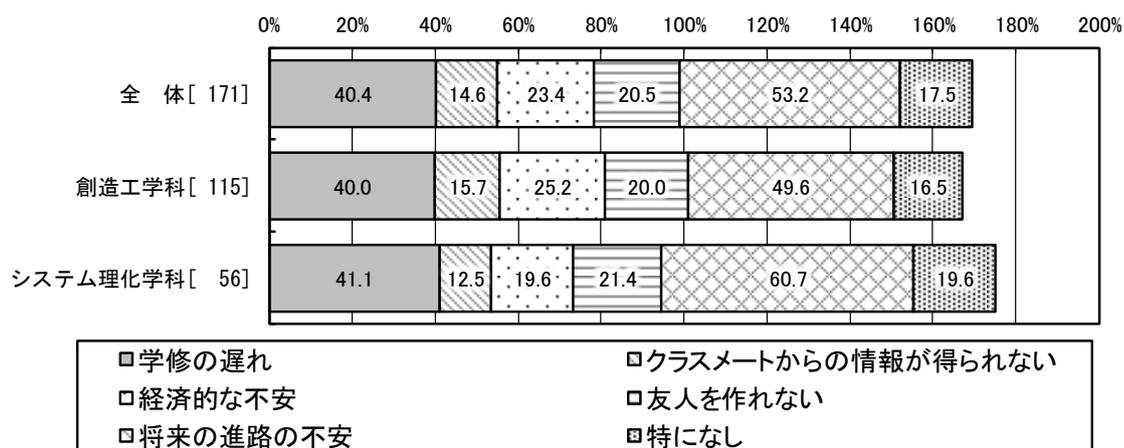
全体としては選択割合が高い順に「将来の進路の不安」(53.2%)、「学修の遅れ」(40.4%)、「経済的な不安」(23.4%)、「友人を作れない」(20.5%)、「クラスメートからの情報が得られない」(14.6%)となっている。

その他で不安なことについて11件の具体的な記述があるので「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)

	1. 学 修 の 遅 れ	2. 得 ら れ な い 情 報 が ト	3. 経 済 的 な 不 安	4. 友 人 を 作 れ な い	5. 不 安 な 将 来 の 進 路 の	6. 特 に な し
全 体 [ 171 ]	40.4	14.6	23.4	20.5	53.2	17.5
創造工学科 [ 115 ]	40.0	15.7	25.2	20.0	49.6	16.5
システム理化学科 [ 56 ]	41.1	12.5	19.6	21.4	60.7	19.6

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)



< 経年比較 >

問19. 学生生活において不安なことは何ですか (複数回答可)

	1. 学 修 の 遅 れ	2. 得 ら れ な い 情 報 が ト ラ カ	3. 経 済 的 な 不 安	4. 友 人 を 作 れ な い	5. 不 安 な 将 来 の 進 路 の	6. 特 に な し	7. 無 回 答
2020年度 [ 107 ]	41.1	38.3	18.7	40.2	51.4	11.2	2.8
2021年度 [ 326 ]	52.8	37.1	18.7	38.3	50.6	13.8	—
2022年度 [ 247 ]	40.9	23.1	19.8	25.9	45.7	21.1	—
2023年度 [ 171 ]	40.4	14.6	23.4	20.5	53.2	17.5	—

## 問20 今後の大学からの支援に望むこと

今後、大学からどのような支援を望みますかという設問に関する回答である。

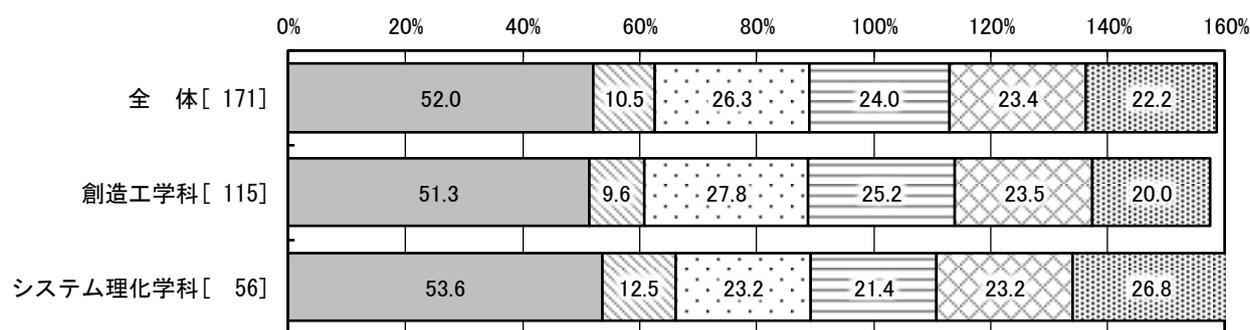
全体としては選択割合が高い順に「授業料の免除」(52.0%)、「大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど)」(26.3%)、「遠隔授業のための受講環境支援」(24.0%)、「学生への細やかな相談対応(チューター制度など)」(23.4%)、「授業料の徴収猶予」(10.5%)となっている。

その他の支援希望事項については7件の具体的な記述があるので、「【別冊】設問別自由記述」を参照いただきたい。

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか (複数回答可)

	1. 授業料 免除	2. 予 授業 料の 徴収 猶 予	3. デ イ ワ イ ト の 案 内 ( ス タ ジ ー ナ ド )	4. 大 学 内 で の ア ル バ イ ト の 案 内	5. 遠 隔 授 業 の た め の 受 講 環 境 支 援	6. 学 生 へ の 細 や か な 相 談 対 応 ( チ ュ ー タ ー 制 度 な ど )	7. 特 に な し
全 体[ 171]	52.0	10.5	26.3	24.0	23.4	22.2	
創造工学科[ 115]	51.3	9.6	27.8	25.2	23.5	20.0	
システム理化学科[ 56]	53.6	12.5	23.2	21.4	23.2	26.8	

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか(複数回答可)



<input type="checkbox"/> 授業料免除	<input type="checkbox"/> 授業料の徴収猶予
<input type="checkbox"/> 大学内でのアルバイトの案内(ワークスタディなど)	<input type="checkbox"/> 遠隔授業のための受講環境支援
<input type="checkbox"/> 学生への細やかな相談対応(チューター制度など)	<input type="checkbox"/> 特になし

< 経年比較 >

問20. 今後、大学からどのような支援を望みますか (複数回答可)

	1. 授 業 料 免 除	2. 授 業 料 の 徴 収 猶 予	3. 大 学 内 で の ア ル バ イ ト の 案 内 ( ス タ ジ ー ナ ド )	4. 大 学 内 で の ア ル バ イ ト の 案 内	5. 遠 隔 授 業 の た め の 受 講 環 境 支 援	6. 学 生 へ の 細 や か な 相 談 対 応 ( チ ュ ー タ ー 制 度 な ど )	7. 特 に な し	7. 無 回 答
2020年度[ 107]	52.3	15.0	29.9	25.2	31.8	18.7	2.8	
2021年度[ 326]	44.2	8.6	35.6	18.7	21.8	25.5	—	
2022年度[ 247]	44.9	6.9	30.0	14.2	22.3	29.1	—	
2023年度[ 171]	52.0	10.5	26.3	24.0	23.4	22.2	—	

## 問21 入学から現在までの総合的な満足度

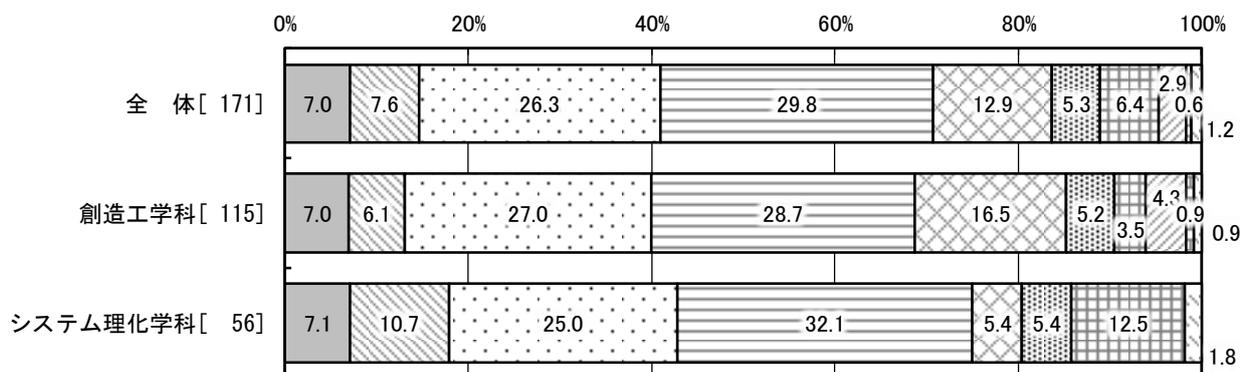
本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度にメリハリをつけて10段階で聞いた設問である。全体として最も選択割合が高い3項目は「7点」(29.8%)、次いで「8点」(26.3%)、「6点」(12.9%)となっている。また、2区分した場合の高いレベルになる「6点」以上は83.6%となっている。

尚、この割合はこれまでの調査で最も高い数値となっている。

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください

	10点：とても満足	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点：著しく不満	6点以上
全体[ 171]	7.0	7.6	26.3	29.8	12.9	5.3	6.4	2.9	0.6	1.2	83.6
創造工学科[ 115]	7.0	6.1	27.0	28.7	16.5	5.2	3.5	4.3	0.9	0.9	85.2
システム理化学科[ 56]	7.1	10.7	25.0	32.1	5.4	5.4	12.5	—	—	1.8	80.4

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください



□10点：とても満足 □9点 □8点 □7点 □6点 □5点 □4点 □3点 □2点 □1点：著しく不満

< 経年比較 >

問21. 本学への入学から今日までを振り返り、総合的な満足度をメリハリをつけて、お聞かせください

	10点：とても満足	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点：著しく不満	無回答	6点以上
2020年度[ 107]	2.8	3.7	19.6	22.4	21.5	10.3	9.3	4.7	1.9	0.9	2.8	70.1
2021年度[ 326]	5.2	6.4	26.7	23.6	17.2	13.5	2.8	3.4	0.6	0.6	—	79.1
2022年度[ 247]	3.2	7.3	30.8	24.3	14.2	10.1	3.6	4.5	1.2	0.8	—	79.8
2023年度[ 171]	7.0	7.6	26.3	29.8	12.9	5.3	6.4	2.9	0.6	1.2	—	83.6

---

室蘭工業大学 2023 年度新入生アンケート  
集計結果報告書

2023 年 11 月  
編著：一般社団法人日本能率協会

---